

二〇二四年一月三十一日
発行



第97卷 第1号 史学・地理学・考古学

特集 移動

史学研究会

京都大学大学院文学研究科内

特集 移 動

特集「移動」に寄せて……………井 谷 鋼 造 (1)

論 説

古墳出現期の社会と土器の移動……………次 山 淳 (7)

「無料で運ぶわけではないし、神の愛のために
運ぶわけでもない」……………櫻 井 康 人 (36)
——中世におけるヴェネツィア・ガレー巡礼船のパトロンたち——

咸豊初年に『夷氛聞記』と『海国四説』を読む……………村 尾 進 (75)
——南京条約後、澳門から省城への「西人」の移動が意味すること——

第一次・第二次世界大戦期のカナダにおける
徴兵制論争……………津 田 博 司 (109)
——「移動」としての総力戦と文化的マイノリティ——

日本におけるブラジル国策移民事業の特質……………坂 口 満 宏 (133)
——熊本県と北海道を事例に——

植民地朝鮮に渡ったコロニアル・ミッシヨナリー……………朴 宣 美 (171)
——日本人女教員を中心に——

自区域内処理原則とごみの移動……………渡 辺 浩 平 (204)

資 料 紹 介

唐古遺跡出土の縄文ある弥生土器……………伊 藤 淳 史 (226)

書 評

金澤周作編『海のイギリス史——闘争と共生の世界史——』……………菊 池 雄 太 (238)

三木理史著『移住型植民地樺太の形成』……………天 野 尚 樹 (244)

紹 介

金永哲著『「満洲国」期における朝鮮人満洲移民政策』……………長 沢 一 恵 (251)

2013年度史学研究大会講演要旨

2013年度史学研究会大会・総会の記録

講演者紹介と司会は、それぞれ永井和理事と田中和子常務理事がつとめた。講演内容はその本号に掲載されているので参照されたい。本年も盛況で、約一二〇名の参加者を得ることができた。

公開講演ののち、横田冬彦理事が閉会の辞を述べ、引き続き文学部地下大会議室にて懇親会を開催した。

(文責 井谷綱造)

史学研究会会則

(二〇一〇年一月二日改正)

第一条 本会は史学研究会と称する。

第二条 本会の事務所を京都大学大学院文学研究科内に置く。

第三条 本会は広く歴史に関心を持つ者が集まり、史学・地理学・考古学に関する研究を行うことを目的とする。

第四条 本会の事業は次の通りである。

1. 総会・大会・例会等の会合

2. 会誌『史林』等の発行

第五条 本会に次の役員を置く。

理事長一名、理事一五名以上三五名以内
(内常務理事四名)、監事二名、評議員
四〇名以上六〇名以内、委員若干名

第六条 役員は理事会及び評議員会によつて選出され、総会の承認を受けるものとす。

理事長は本会を代表し、会務を統括し、会員総会、理事会及び評議員会を招集する。理事は理事会を構成し、会務を処理する。とくに常務理事は、庶務・編集・会計・広報の各事務を担当する。監事は会計経理を監査する。

第七条 委員は理事長より囑託され、編集・庶務の実務を分掌する。

第八条 役員任期は、委員(任期一年)を除き、二年とする。但し、再任をさまたげない。

第九条 本会は第三条に掲げた目的に賛同する者をもつて会員とする。会員は次の二種類とする。

1. 正会員 2. 学生会員

第十条 会員は会誌『史林』の配布を受け、かつこれに投稿し、また総会に参加することが出来る。

第十一条 会員は、退会届を事務局に提出し、任意に退会することが出来る。また、会員が次の各号のいずれかに該当する場合には、退会したものとし、みなす。

(一) 本人が死亡し、または会員である

団体が消滅した時

(二) 会費を三年間納入しない時

第十二条 会員は、所定の会費一年分を前納するものとする。会費の納入を二年分怠った時、雑誌の送付を停止される。さらに一年間会費の納入を行わない場合、会員の資格を喪失する。

第十三条 会員が既に納入した会費は返還しない。ただし一年分を超えて前納している場合には、一年分を超える部分を返還する。

第十四条 毎年秋季に大会を開き、また適宜例会を開く。会場等はその度にこれを定める。

第十五条 毎年秋季において総会を開き、会務の報告を行ない、承認を受ける。

第十六条 本会の経費は会費、事業収入及び寄付金を以て支弁する。会費は誌代を以てこれにあてる。

第十七条 本会の会計年度は四月に始まり、翌年三月に終わる。

附則 本会則の変更は、会員総会の決議によるものとする。

但し会務執行に必要な細則及び物価変動に基づく会費金額の変更は理事会がこれ

を行う。

『史林』投稿規定

- ◇資格 本学会員であること。
- ◇投稿受付原稿の種類、長さ
論説 1段組54字×19行の体裁で、三三〇〇〇字以内
- ◇研究ノート 2段組29字×20行の体裁で、二〇〇〇〇字以内
- ◇研究動向 2段組29字×20行の体裁で、三二〇〇〇字以内
- ◇史料紹介 2段組29字×20行の体裁で、三二〇〇〇字以内
- ◇書評・論文評 2段組、八〇〇〇字以内
- ◇紹介 3段組、一二〇〇字程度
- ◇原稿の種類を明示すること。
- ◇いずれにおいても、本文や注だけでなく謝辞や図表・翻刻を含めて、それぞれの紙幅に収めること。
- ◇注は各章末に入れること。
- ◇「欧文タイトル」を添付すること。
- ◇論説には「要約」(四〇〇〇字以内)を添付のこと。「要約」は上記の紙幅制限の対象外とする。
- ◇論説および研究ノートの投稿者は、掲載

が決定した時点で、「欧文要約」(六〇〇〜八〇〇語程度)を提出すること。なお、英文要約に限り、翻訳による作成依頼にも応じるが、経費は投稿者負担とする。

- ◇投稿に際しては、(1)プリントアウト一部もしくはPDFファイル、および(2)電子データを送付する。電子データに関する詳細は下記「補足」の〈電子データ作成要領〉を参照。電子データを準備できない場合は、あらかじめ事務局まで連絡すること。

◇図版を用いる場合は、下記「補足」の〈図版作成要領〉に従って作成、添付すること。

注意・編集委員会において、印刷技術上、図版の修正や特殊活字の作成を要すると判断し、これを業者に委託した場合には、その経費の一部、数千円〜数万円を負担していただきます。あらかじめご了解下さい。

送り先・史林編集委員会

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学大学院文学研究科内 史学研究会

『史林』投稿規定「補足」

〈電子データ添付要領〉

・電子データは、フロッピーディスク、CD-R、CD-RW、USBフラッシュメモリなどのメディアに保存して郵送することを原則とする。郵送に不便があるなどの事由で、メールによる投稿を希望する場合は、あらかじめ事務局に問い合わせること。

・本文の電子データは、マイクロソフト・ワード、一太郎、テキストファイルのいずれかの形式で保存し、保存形式(OSおよび使用ソフト)を明示すること。

・図版に電子データを使用する場合には、300dpi以上の解像度とする。ソフト(IllustratorやPhotoshopなど)やバージョンについて事前に照会・確認すること。

〈図版作成要領〉

・本文原稿中に図版の割付箇所を注記すること。

・仕上寸法は、最大で170mm×110mm(キャプション込み)とすること。

・ 図および写真は、仕上寸法の2倍（面積4倍）程度で作成し、希望縮尺率を明記すること。

・ 図は、トレーシングペーパーや製図用ケント紙などに製図用インキで明瞭に描くこと。その際、線の太さを一定に保つため、製図用ペンを使用することが望ましい。

・ 図中の文字は写真植字を用いて印刷するので、鉛筆書きするか、上にトレーシングペーパーを重ね該当箇所に文字のみを書き入れること。また、インスタントレタリングやワープロ文字を原図に貼り付ける場合は、仕上段階の鮮明度を配慮すること。

・ 写真は、原版が十分に鮮明でコントラストが明瞭なものを選ぶこと。なお、巻頭にアート紙で印刷することを希望する場合は、割付・仕上等は編集委員会で調整する。その経費は投稿者負担とする。

・ 表は、仕上を配慮して、文字数や表現法を工夫すること。原表の掲載を希望する場合は、その旨を明記し、図版に準じた体裁を整えること。

注意・図表に不備がある場合は、投稿者に

修正を依頼するか、編集委員会が修正します（経費は投稿者負担となります）。

（論文等の電子的公開について）

・ 著者が論文等を任意のサーバーに、機関レポジトリ等を使って公表する場合は、以下の条件を満たすことを要する。この条件を満たす限りにおいて、本会への承諾はいは不要とする。

イ) 『史林』の版面をそのままPDFファイルなどにして公開する場合は、掲載誌刊行後、二年を経過していること。
ロ) 論文の出典を明らかにすること。
ハ) 営利目的でないこと。

（二〇一四年一月改定）

受 贈 誌

（二〇一三年七月一八日）
二〇一三年一〇月一八日

九州国際大学 法学論集（九州国際大学法学会）一九一三

日本歴史（日本歴史学会）七八三

人文地理（人文地理学会）六五―三

日本史研究（日本史研究会）六一―

臺灣師大歴史學報（國立臺灣師範大學歴史學系）四七

臺灣師大歴史學報（國立臺灣師範大學歴史學系）四八

人文學報（京都大學人文科學研究所）〇三

人文學報（京都大學人文科學研究所）〇二

龍谷大学経済学論集（龍谷大学経済学会）五二―三

國立臺灣大學 考古人類學刊（國立臺灣大學大学院人類學系）七八

桜井市纏向学研究所センター年報（桜井市纏向学研究所センター）〇号（二〇一三）

桜井市埋蔵文化財 発掘調査報告書（桜井市纏向学研究所センター編）四〇

纏向学研究所センター研究紀要（中央研究院 歴史語言研究所集刊（中央研究院歴史語言研究所）八四―二

史迹と美術（史迹美術同攻会）八三六

経済論究（九州大学大学院経済学会）一四六

アジア研究所所報（亜細亜大学アジア研究所）一五一

國史學（國史学会）二一〇

史泉（関西大学史学・地理学会）一一八

- 中山大學學報 社会科学版 (中山大學學報
 編集部) 五三一—
 中山大學學報 社会科学版 (中山大學學報
 編集部) 五三一—
 中山大學學報 社会科学版 (中山大學學報
 編集部) 五三一—
 韓國史研究彙報 (韓國國史編纂委員會) 一
 六〇・一六一
 東方學 (東方學會) 二二六
 三康文化研究所年報 (三康文化研究所) 四
 四
 皇學館大學紀要 (皇學館大學) 五〇
 皇學館大學紀要 (皇學館大學) 五一
 史學雜誌 (史學會 (東京大學文学部内))
 一一二—一七
 日本學刊 JAPANESE STUDIES (中國社
 會科学院日本研究所中華日本学会) 二〇
 一三一—四
 飛鳥資料館研究図録 東アジア金属工芸史
 の研究 (奈良文化財研究所飛鳥資料館)
 一六
 海南史學 (高知海南史学会) 五一
 地域アカデミー 公開講座報告書 (広島大
 學大学院文学研究科歴史文化化学講座) 二
 〇一一
- 經濟研究 (一橋大學經濟研究所) 六四—三
 愛知大學文學論叢 (愛知大學文学会) 一四
 八
 經濟論集 (ソウル大學校經濟研究所) 五二
 一—
 信濃 (信濃史学会) 六五一—八
 日本史研究 (日本史研究会) 六一—
 ANTHROPOLOGICAL SCIENCE (The
 Official Journal of THE ANTHROPO-
 LOGICAL SOCIETY OF NIPPON) 一
 二二—二二
 立命館産業社会論集 (立命館産業社会学
 会) 四九—一
 立命館法學 (立命館大學法学会) 三四八
 日本歴史 (日本歴史学会) 七八四
 新潟県立歴史博物館研究紀要 (新潟県立歴
 史博物館) 一四
 紀尾井論叢 (上智大學 Sapientia 会) 一
 史迹と美術 (史迹美術同攻会) 八三七
 日本民俗学 (日本民俗学会) 二七五
 須坂市域の史料目録 (須坂市誌編さん室)
 五
 奈良文化財研究所概要 (奈良文化財研究
 所) 二〇—三
 栃木県立文書館だより (栃木県立文書館)
- 五四
 文化 (東北大學文学会) 七六一—三・四
 立命館國際平和ミュージアムだより (立命
 館國際平和ミュージアム) 二二—一
 國家學會雜誌 (國家学会事務所) 二二六—
 七・八
 史學雜誌 (史學會 (東京大學文学部内))
 一一—八
 社会經濟史學 (社会經濟史学会) 七九—二
 東洋史研究 (東洋史研究会) 七二—二
 西洋史學報 (広島大學西洋史学研究室) 四
 〇
 信濃 (信濃史学会) 六五一—九
 考古學報 (中國社会科学考古学研究所) 二
 〇三一—三
 成大歷史學報 (國立成功大學歷史學系) 四
 四
 日本史研究 (日本史研究会) 六一—二
 皇學館大學史料編纂所報 (皇學館大學史料
 編纂所) 二二—九
 國立歷史民俗博物館年報 (國立歷史民俗博
 物館) 九
 米沢史學 (米沢史学会) 二九
 日本歴史 (日本歴史学会) 七八五
 史迹と美術 (史迹美術同攻会) 八三八

- 史観（早稲田大学史学会）一六九
 古代文化（古代学協会）六五―二
 立命館文学（立命館大学人文学会）六三二
 史學（三田史学会）八二―三
 史學研究（廣島史學研究会）二八一
 藝林（藝林會）六二―二
 経済科学（名古屋大学大学院経済学研究科）六一―二
 九州国際大学経営経済論集（九州国際大学経済学会）一九―三
 オリエント（日本オリエント学会）五六―一
 一
 經濟學研究（九州大学經濟学会）八〇―一
 經濟學研究（九州大学經濟学会）八〇―一
 二・三合併号
 哲學研究（京都哲學會）五九六
 日本学刊 JAPANESE STUDIES（中国社科院日本研究所中華日本学会）二〇
 一三・五
 一橋研究（一橋大学大学院一橋研究編集委員会）三八―一・二合併号（通卷一七六号）
 史學雜誌（史學會（東京大学文学部内））
 一二二―九
 人文地理（人文地理学会）六五―四

日本學士院紀要（日本學士院）六八一―
 九州国際大学教養研究（九州国際大学教養学会）二〇―一

編集後記

今年の特集号のテーマである「移動」とは、私たちの日常生活においても大きな位置を占める行為であり、その分、歴史学の主題としてはやや漠然とした、捉えどころのない概念といえるかも知れません。今回掲載されております論説・資料紹介・書評・紹介とも、執筆者それぞれの秀逸な見地から、この身近でありながら甚だ多面的な「移動」の諸相を取りあげ、その概念の幅広さを示してくださいました。一編集者として、当方の曖昧模糊とした寄稿依頼にかくも見事に応えてくださった執筆者の諸先生には深く御礼申し上げる次第です。しかし一方で、特集号全体としては、個々の論点があまりに多岐にわたってしまい、移住や交通など本来歴史学が主要なテーマとしてきた「移動」を期待された読者の方々にとっては、ご本意に添えなかつた面もあつたのではと危惧しております。いや

しくも「特集」と名のつく企画を立てるなら、できるかぎり読者の期待を予想した論題に絞るこむべきだということも、もつともかと存じます。責めを負うべきはもちろん執筆者の先生方ではなく、執筆依頼の時点で明確な構想を描ききれいでなかつた我々運営陣にあることはいうまでもありません。一介の編集要員としてではありますが、今後の課題とさせていただきます、改善に向けて精進して参りたいと存じます。（山崎）

◆史学研究会ホームページ・アドレス

<http://www.shigakukenkuyukai.jp/index.html>

二〇一四年一月二五日印刷 定価二、〇〇〇円
 二〇一四年一月三二日発行

史林 第九七巻第一号（通巻第五〇二号）

京都府京都市南区西九条五丁目京都大学大学院文学部研究科内

電話 〇七五 七五三 二七七八
 FAX 〇七五 七五三 二七七八

発行人

史学研究会

振替京都 〇二〇七〇二一五 一五五番
 理事長 上原真人

印刷所

京都市南区上七畷田中元
 中村印刷株式会社

史学研究会例会のお知らせ

左記のとおり、史学研究会例会を開催いたします。参加は無料、事前の予約も不要です多数ご来会くださいますよう、ご案内申し上げます。

日時 二〇一四年四月一九日(土) 午後一時～六時一五分

場所 京都大学文学部 新館第三講義室

テーマ 「祈り」

プログラム

開会挨拶 史学研究会理事長 上原真人

趣旨説明

第一部(午後一時一五分～三時四〇分)

松尾充晶 「古代の祭祀空間——地域社会における神社の成立過程——」

坪井 剛 「鎌倉期における専修念仏教団の形成と展開」

青谷秀紀 「中世ネーデルランドにおける聖地の表象と贖宥」

第二部(午後四時～五時三五分)

水越 知 「中国近世の地方都市における宗教的空間——十九世紀、重慶府巴県を中心に——」

横田貴之 「ムスリム同胞団の『行動の思想』——ハサン・バンナーを中心に——」

質疑および討論(午後五時三五分～六時)

開会挨拶 京都大学文学研究科歴史文化学系代表

※プログラム終了後、懇親会(午後六時三〇分～八時、参加無料、予約不要)を予定しております。

Special Issue
MIGRATION

ITANI KOZO, Foreword..... (1)

Articles :

TSUGIYAMA Jun, Society during the Initial Stage of the Kofun Period
and the Movement of Pottery..... (7)

SAKURAI Yasuto, *‘Li Veniciani non li peregrini portano gratis,
ne per amor de Dio’*: The Patrons of the Galleys for Pilgrimage
in the Middle Ages..... (36)

MURAO Susumu, Reading the *Yifen wenji* and the *Haiguo sishuo*
in the Early Years of the Reign of Xianfeng:
The Significance of the Migration of Westerners
from Macau to Guangzhou after the Treaty of Nanjing..... (75)

TSUDA Hiroshi, The Conscription Crises in Canada
during the First and Second World Wars:
The Experience of Total War and Cultural Minorities..... (109)

SAKAGUCHI Mitsuhiro, Characteristics of the National Brazil-bound
Emigration Enterprises in Japan: The Cases of Emigrants
from Kumamoto and Hokkaido..... (133)

PARK Sunmi, Missionaries in Colonial Korea:
The Case of Japanese Female Teachers..... (171)

WATANABE Kohei, The Proximity Principle
and the Movement of Waste..... (204)

Materials :

ITO Atsushi, Cord-marked (Jōmon-style) Yayoi Potsherds Excavated
from Karako, Nara..... (226)

Book Reviews :

KANAZAWA Shusaku ed., *A Companion to British Maritime History*,
(KIKUCHI Yuta)..... (238)

MIKI Masafumi, *Study of Japanese Settlement Colony of Karafuto*
(AMANO Naoki)..... (244)

Miscellaneous :

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. XCVII No. 1

January 2014

Special Issue
MIGRATION

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(The Society of Historical Research)

Kyoto University, Kyoto, Japan

定価 2,000円(税込)

ISSN 0386-9369